

お手数ですが、全ての調査項目について課程ごとにお答えください。

I 基本情報

「施設等の基本情報」についてお聞きします

※以下については令和元年12月1日現在で記入してください。

問1 貴施設の名称について、国又は都知事の許可を受けている名称を記入してください。

(例)学校法人〇〇

問2 貴施設の住所を記入してください。

(区市町村名から)

問3 貴施設の施設種別は次のうちどれですか。

- ① 大学院
- ② 大学
- ③ 看護師等養成所
- ④ 高等学校

回答

問4 貴施設の設置者である団体・法人では、次の①～⑦の施設を運営していますか。
運営している場合には、該当するものすべてに○を付けてください。

① 病院	
② 診療所	
③ 助産所	
④ 訪問看護ステーション	
⑤ 介護老人保健施設	
⑥ 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	
⑦ 有料老人ホーム	
⑧ その他 (具体的に: _____)	

問5 令和7(2025)年までに課程や学生定員の変更予定はありますか？

- ① 有 ② 無

回答

【令和7(2025)年末までに変更の予定がある場合にお答えください。】

問5-1 どのような変更ですか。

- ① 学生定員増 ② 学生定員減 ③ 養成課程の変更 ④ 学科の増設
⑤ 学科の廃止 ⑥ 専門職大学への変更 ⑦ 廃校

II 看護教員の状況

「就業状況」についてお聞きします

【看護師等養成所の方にお聞きします。】

問6 令和元年12月1日現在在籍している看護教員(休業退職者を含む)について、雇用形態別、就業形態別、教員数を記入してください。また、正規雇用の教員については年齢区分人数も記入してください。

【注釈】	
●	看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。
●	複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に記入 例) 助産師と看護師の免許を所有し、主に母性看護学を担当している場合 ⇒ 「助産師」欄に記入
●	専任教員とは養成所指定規則に規定する資格を有する専任の教員
●	正規雇用 任期の定め(定年を除く)のない雇用で、育児・介護等による短時間正規雇用を含む。
●	非正規雇用 任期の定めのある雇用(再雇用含む)
●	常勤: 学校で定められた勤務時間を全て勤務する教員(フルタイム)
●	非常勤: 学校と雇用関係にあつて常勤(フルタイム)でない教員のうち、看護職の資格を持ち、「看護学」を教えている教員を記入(週2日5時間の勤務の教員、非常勤講師等)

(単位: 人)

〈令和元年12月1日現在〉

	専任教員の定数	正規雇用		非正規雇用	
		常勤	短時間正規雇用	常勤	非常勤
保健師					
助産師					
看護師					
合計					

	~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳~	合計
正規雇用(再掲)											

【大学・大学院の方にお聞きします。】

問7 令和元年12月1日現在在籍している看護教員(休業退職者を含む)について、職位別に記入してください

【注釈】	
●	看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。
●	複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に記入 例) 助産師と看護師の免許を所有し、主に母性看護学を担当している場合 ⇒ 「助産師」欄に記入
●	非常勤講師は看護職の資格をもち、「看護学」を教えている教員を記入(特任教員も含む)

〈令和元年12月1日現在〉

(単位: 人)

		教授	准教授	講師	助教	助手	合計	非常勤講師
専任教員の定数								
看護教員	保健師							
	助産師							
	看護師							
その他の教員								

今後の6年後の令和7(2025)年の看護教員配置計画についてお聞きします

問8 令和元年12月1日現在在籍している看護教員(休業退職者を含む)及び、令和7(2025)年の看護教員配置計画(12月1日時点)について、以下の表に人数を記入してください。

【令和7(2025)年配置計画】

(単位:人)

	令和元年12月1日現在	令和7年12月1日現在
	実人員	実人員
看護教員		

【令和7(2025)年末までに看護教員の増減予定がある場合にお答えください。】

問8-1 令和7(2025)年末までの需要人員の主たる増減理由を1つ選択してください。

- ① 学生定員数の変更
- ② 教育課程の変更
- ③ 教育体制・実習指導体制の充実、見直し
- ④ 勤務環境の充実・見直し
- ⑤ 研修受講の充実・見直し
- ⑥ その他(具体的に: _____)

回答

採用状況についてお聞きします

【注釈】

- 複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に記入してください。
- 非正規雇用・非常勤講師は含みません。

問9 平成30年度及び令和元年度(4月～9月末)の専任看護教員の採用者数について、職種別に記入してください。

(単位:人)

	平成30年度	令和元年度 (4月～9月末)
保健師		
助産師		
看護師		
合計		

問9-1 平成30年度及び令和元年度(4月～9月末)の専任看護教員採用者について年齢別、臨床経験別に、を記入してください。

(単位:人)

年齢区分	～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳～	合計
平成30年度										
令和元年度(4月～9月)										

臨床経験	新卒	3年未満	3年～5年	6年～10年	10年～15年	15年～20年	20年以上	合計
平成30年度								
令和元年度(4月～9月)								

※合計は、問9の合計と一致します。

問10 看護教員の確保について、次の中で実際に行っているものすべてを選択し、○を付けてください。
また、その中で最も効果があったと思うもの1つを選択し、◎を付けてください。

	行っている	最も効果あり
① 教員養成課程修了(予定)者へのリクルート		
② 新聞折り込み等広告への掲載		
③ 求人情報誌への掲載		
④ 看護系雑誌への掲載		
⑤ インターネット上の教員公募サイト		
⑥ 学校のホームページ・SNS等		
⑦ ナースバンク(無料職業紹介所)の利用		
⑧ ハローワーク(職業安定所)の利用		
⑨ 有料職業紹介事業者の利用		
⑩ 自校同窓会等への働きかけ		
⑪ 他教育機関教員への働きかけ		
⑫ 自校の退職者を勧誘		
⑬ 関係病院からの異動		
⑭ 看護教員の口コミ		
⑮ 見学、相談を随時受け入れる体制		
⑯ その他(具体的に:)		

「退職」についてお聞きします

【注釈】

- 複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に記入してください。
- 非正規雇用・非常勤講師は含みません。

問11 平成30年度の専任看護教員の退職状況について記入してください。

	平成30年	(単位：人)
退職者総数		
(内数)他校・臨床現場への転職		
(内数)定年		

問12 平成30年度における専任看護教員の退職者の人数を主な退職理由別に記入してください。

退職理由	人数	退職理由	人数
① 出産・育児		⑦ 他校への転職	
② 転居		⑧ 職場の人間関係	
③ 本人の心身の不調		⑨ 進学	
④ 家族の健康・介護問題		⑩ 定年	
⑤ 勤務負担		⑪ 経済的に働く必要がなくなった	
⑥ 臨床現場への転職		⑫ その他(具体的に:)	
		合 計	

※合計は、問11の人数と一致します。

問13 平成30年度の専任看護教員の退職者の勤続年数別の人数を記入して下さい。

勤続年数	1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10~15年未満	15~20年未満	20年以上	合計
退職者数								

※合計は、問11及び問12の人数と一致します。

「専任看護教員の研修等」についてお聞きします

問14 専任看護教員の資質向上のための研修を学校内で実施していますか。

- ① 実施している (→問16-1へ)
- ② 実施していない (→問16-2へ)

回答

【問15で「①実施している」を選択した場合にお答えください。】

問15-1 どのような研修を行っていますか。

--

【問14で「②実施していない」を選択した場合にお答えください。】

問14-2 外部の研修を利用していますか。

- ① 利用している (→問16-3へ)
- ② 利用していない

回答

【問14-2で「①利用している」を選択した場合にお答えください。】

問14-3 どのような研修を利用していますか。研修名、実施場所等をご記入ください。

例) 「中堅看護教員ブラッシュアップ研修」(東京都ナースプラザ実施)

--

問14-4 専任教員の資質向上のためにどのような研修が必要ですか。

--

問15 看護研究に対し、どのような支援を行っていますか。具体的に記載してください。

--

Ⅲ 養成課程別学生の状況 ※養成課程別にご回答をお願いします。

入学状況についてお聞きします

問16 養成課程は、次のうちどれですか。

- ① 保健師・助産師・看護師課程
- ② 保健師・看護師課程
- ③ 保健師課程
- ④ 助産師・看護師課程
- ⑤ 助産師課程(全日制)1年コース
- ⑥ 助産師課程(昼定時制)2年生コース
- ⑦ 看護師3年課程
- ⑧ 看護師2年課程(全日制)
- ⑨ 看護師2年課程(昼定時制)
- ⑩ 看護師2年課程(夜定時制)
- ⑪ 看護師2年課程(通信制)
- ⑫ 准看護師課程

回 答

問17 令和元年度の1学年の定員数は何人ですか。また総定員数は何人ですか。

1学年定員数		人
総定員数		人

問18 令和元年度の応募・受験者数等について記入してください。

(単位:人)

令和元年度	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率

問19 令和元年度の入学者を男女別、出身地(都内・都外)別に記入してください。

※出身地については、入学試験願書提出時の居住地とします。

(単位:人)

(単位:人)

令和元年度	男	女	合計
入学者数			
(内数)都内出身者			
(内数)都外出身者			

※入学者数の計は、問18の入学者数と一致します。

問20 令和元年度の入学者の人数を年齢別に記入してください。

(単位:人)

令和元年度	~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55歳~	平均年齢
入学者数										

※各年齢区分の計は、問18の入学者数と一致します。

問21 学生の確保について、次の中で実際に行っているものすべてを選択し、○を付けてください。
また、その中で最も効果があったと思うもの1つを選択し、◎を付けてください。

	行っている	最も効果あり
① 教育内容の充実、ユニークな教育活動		
② ホームページの充実、頻繁な更新		
③ 入学試験における科目や形態の変更、多様化		
④ 入学試験における推薦枠の拡充		
⑤ 入学試験における社会人枠の拡充		
⑥ 高校訪問、勧誘活動		
⑦ 男子校への勧誘活動		
⑧ 学校説明会・オープンキャンパスの開催、随時受付		
⑨ 高校が行う進路説明会等への参加		
⑩ 業者が行う合同進学説明会等への参加		
⑪ 学費の減額制度		
⑫ 奨学金制度のある病院とのタイアップ		
⑬ 学校独自の奨学金制度		
⑭ 東京都看護師等修学資金等の積極的案内		
⑮ 外国人学生の積極的な受入れ		
⑯ 校舎整備(改築、改修等)		
⑰ 学生寮の整備・学生用住宅の確保		
⑱ その他(具体的に:)		

問21-1 ⑪の「学費の減額」を行っている場合、行っている免除の種類に○をつけてください。

また、対象学生の要件に該当するものに○をつけ、減免した人数を記入してください。

免除の種類	行っているもの	対象学生	減免人数
入学料免除		低所得・成績優秀・その他の要件	人
授業全額免除		低所得・成績優秀・その他の要件	人
授業料半額免除		低所得・成績優秀・その他の要件	人
授業料の一部を免除		低所得・成績優秀・その他の要件	人
その他		低所得・成績優秀・その他の要件	人

問21-2 ⑪の「学費の減額」を現在行っていない場合、令和2年4月1日から始まる「高等教育の就学支援制度」を導入し、入学金及び授業料の減免を実施する予定はありますか。

- ① ある ② ない

回 答

問21-3 ⑫、⑬、⑭を行っている場合、行っている(案内している)奨学金に○をつけてください。

また、令和元年度の利用人数を記入してください。(2種類以上利用している場合、それぞれに計上してください。)

修学資金等の貸付金の種類	実施又は案内	人数
① 東京都看護師等修学資金第一種貸与 (一口21,000円～83,000円のもの)		
② 東京都看護師等修学資金第二種貸与 (一口25,000円のもの)		
③ 都内の病院等に就業することで返還が免除される貸付金(上記①を除く)		
④ 都外の病院等に就業することで返還が免除される貸付金		
⑤ 学校独自の奨学金(給付型)		
⑥ 学校独自の貸付金		
⑦ 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金		
⑧ 東京都育英資金		
⑨ 病院とタイアップした奨学金(具体的に:)		
⑩ その他(具体的に:)		

退学についてお聞きします

問22 平成30年度の退学者の人数を学年別に記入してください。

()内には、男子の人数を内数で記入してください。

(単位：人)

平成30年度	1年生	2年生	3年生	4年生
退学者数	()	()	()	()

問23 平成30年度の退学者の退学理由別の人数を、学年別に記入してください。

()内には、男子の人数を内数で記入してください。

(単位：人)

	1年生	2年生	3年生	4年生
学力・成績	()	()	()	()
健康	()	()	()	()
進路変更	()	()	()	()
経済的	()	()	()	()
その他	()	()	()	()
計	()	()	()	()

※学年別の計は、問24の平成2530年度の学年別の内訳と一致します。

国家試験等の対策についてお聞きします

問24 平成30年度の国家試験及び准看資格試験の受験者数と合格者数を記入してください。

(単位：人)

平成30年度	保健師	助産師	看護師	准看護師
受験者数	()	()	()	()
合格者数	()	()	()	()

※()内には、既卒者の受験者数・合格者数を把握している場合、記載してください。

問25 国家試験等合格に効果をあげている対策があれば、その内容を記入してください。

問26 不合格者に対する対応は、どのようにしていますか。

- ① 卒業後も指導を継続している(個別指導等)
- ② 継続的に近況を把握し、合否も確認している
- ③ 特に対応していない
- ④ その他(具体的に:)

回 答

就職支援についてお聞きします

問27 就職支援体制について、実施しているものに全て○をつけてください。

	行っている
① キャリア教育	
② 就職資料室の整備	
③ 専任就職相談員の配置	
④ 兼任就職相談員の配置	
⑤ 学校で就職説明会を実施	
⑥ 先輩の体験を聞く会を実施	
⑦ インターシップの案内と参加推奨	
⑧ ナースバンク(東京都ナースプラザ)の出張説明会	
⑨ その他(具体的に:)	

問27-1 ⑤の就職説明会を実施している場合、開催時期等についてお答えください。

また、参加施設の種類について該当するものに○をつけてください。

開催時期	対象学年	参加施設
		都内病院・都外病院・診療所・訪問看護・高齢者施設・社会福祉施設・行政機関
		都内病院・都外病院・診療所・訪問看護・高齢者施設・社会福祉施設・行政機関

問28 学生が希望する就職先として希望がある施設に丸を付け、人気のある施設を3つ選び、順位をつけてください。

施設の種類	希望があるもの	人気のあるもの (1位～3位まで)
200床以上の病院		
200床未満の病院		
精神科の病院		
診療所		
助産所		
訪問看護ステーション		
介護保険施設等高齢者施設		
障害者支援施設		
児童福祉施設		
行政機関(保健所、地域包括支援センター)		
看護師養成・教育機関		

問29 学生が就職先を決めるに当たり、重点をおいているものは何ですか
重点をおいていると思うものを3つ選んでください。

- ① やりたい看護ができる(看護観)
- ② 興味のある分野(救急、小児、精神、在宅など)・施設
- ③ 新人研修等の教育体制が整っている
- ④ 勤務条件(給与・福利厚生・休暇制度など)がよい
- ⑤ ライフステージに合わせた多様な勤務形態がある
- ⑥ 専門資格取得等キャリアアップの機会・支援がある
- ⑦ 今の住居から通勤できる・通勤しやすい
- ⑧ 先輩や知人が就職している
- ⑨ 在籍する学校・養成所の関連病院・施設である
- ⑩ 実習した病院・施設である
- ⑪ 借りている貸付金の返還免除対象施設である
- ⑫ 家族の賛成がある

回答		

卒業後の進路についてお聞きします

問30 平成30年度の卒業生の人数を、進路別に記入してください。

(単位：人)

	看護系									その他				合計	
	就職者			進学者						就職	進学	不明	計		
	都内	都外	計	大学院	大学		短大	養成所							計
					保健師	助産師		助産師	看(2)						
平成30年度															

※「看(2)」とは、看護師2年課程です。

問31 平成30年度卒業生のうち、看護職員として就職した者の内訳を、施設種別、都内・都外別に記入してください。

(単位：人)

	病院		診療所	訪問看護	助産所	介護老健施設	高齢者施設 (老健以外)	社会福祉施設 (児童福祉施設・障害者施設等)	保健所 市町村 その他行政 施設	その他	計
	(内数)										
	200床未満	精神									
都内											
都外											

※計は、問30の平成30年度の就職者の都内計、都外計の数と一致します。

※「精神」の欄には、精神病床数が80%以上を占める病院に就職した人数を記入してください。

※「療育」の欄には、児童福祉法第42条第2号に規定する医療型障害児入所施設に就職した人数を記入してください。

※「200床未満」であり、「精神」に該当する病院に就職した者は、「200床未満」の欄にのみ記入してください。

問32 平成30年度卒業生のうち、看護職員として就職した者の内訳を、附属施設、関連施設(附属ではないが、関係する施設)、実習施設(附属施設・関連施設以外の実習施設)別に記入してください。

	病院	診療所	訪問看護	助産所	介護老健	高齢者施設 (老健以外)	社会福祉施設 (児童福祉施設・障害者施設等)	保健所 市町村 その他 行政施設	その他	計
附属施設										
(内数) 都外施設										
関連施設										
(内数) 都外施設										
実習施設										
(内数) 都外施設										

問33 卒業生の現在の就業動向等を把握するため、何らかの方策を実施していますか。
(結果として、把握できていなくても構いません。)

- ① 実施している (→問33-1～問33-2へ)
- ② 実施していない (→問34へ)

回答

【問33で「① 実施している」を選択した場合にお答えください。】

問33-1 どのような方法で就業動向等の把握に努めていますか。当てはまるものすべてについて回答欄にCを付けてください。

- ① 同窓会誌などに連絡用のはがき等を同封し、回収している
- ② 就業動向等を把握するための調査を実施している
- ③ 転居・転職などの際は、知らせる仕組みになっている(ホームページ登録、ファクシミリ等)
- ④ その他(具体的に: _____)

	①	②	③	④
回答				

【問33で「① 実施している」を選択した場合にお答えください。】

問33-2 就業動向を把握する期間としては、卒後、何年程度を目安に行っていますか。

- ① 1年間
- ② 3年程度
- ③ 5年程度
- ④ 10年程度
- ⑤ それ以上

回答

問34 卒業生の離職防止・定着支援を行っていますか。

- ① 行っている (→問34-1へ)
- ② 行っていない (→問35へ)

回答

【問34で「① 行っている」を選択した場合にお答えください。】

問34-1 どのような支援を行っていますか。自由にご記入ください。

(例:ホームカミングデーの開催、Web上で相談窓口や掲示板を開設 等)

--

実習施設についてお聞きします

問35 実習施設の所在地が学校所在地と同区市内か等について当てはまる番号欄に○をつけてください。
 施設の場所が複数ある場合は、当てはまる全ての番号に○をつけてください。

実習施設の種類	① 学校所在地と同じ区・市内	② 学校所在地の近隣区・市内	③ 都内(①②以外)	④ 都外
病院				
助産所				
訪問看護ステーション				
保育所等				
介護老人保健施設等高齢者施設				
障害者支援施設等				
地域包括支援センター				
その他				

問36 実習施設に支払っている謝金について施設の種類ごとに平均単価をご記入ください。
 また、年間定額で支払っている場合は定額の欄にご記入ください。

実習施設の種類	① 学校所在地と同じ区・市内	② 学校所在地の近隣区・市内	③ 都内(①②以外)	④ 都外
病院				
助産所				
訪問看護ステーション				
保育所等				
介護老人保健施設等高齢者施設				
障害者支援施設等				
地域包括支援センター				
その他				

問37 実習施設の確保等の状況で当てはまるものすべてについて回答欄に○を付けてください。

- ① 特に問題はない
- ② 実習施設が不足している
- ③ 実習施設の受け入れ条件(時期、制約)が厳しい
- ④ 実習受け入れ人数の制限が厳しい
- ⑤ 実習先の看護師スタッフが不足している
- ⑥ 受け持ち患者が不足している
- ⑦ 実習施設に係る看護教員が不足している
- ⑧ その他(具体的: ;)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
回答								

IV その他について

問38 平成27年10月から、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」により、看護師等免許保持者は、看護業務から離職した場合に住所、氏名等をナースセンターに届け出るようになっていきます。教員になる場合にも届け出が必要ですがこのことを教員に周知していますか。

- ① 周知している
- ② 周知していない

回答

問38-1 将来、離職した場合の手続きとして学生には周知していますか。

- ① 周知している
- ② 周知していない

回答

問38-2 問39及び問39-1で周知していないを選択された場合、その理由をお答えください。

--

最後にご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

--

以上で調査は終了です。
御協力いただき誠にありがとうございました。